

令和4年12月22日（木）現在

### 【 果 樹 】

リンゴ、カキは変わらず厳しい販売が続いている。

干し柿類については、今後、年末需要の高まり期待されるが、長野県産はじめ本格的な増量が見込まれることから、売り込みを強める販売となる見通し。

#### <あんぽ柿>

年末に向けて動きがあるので、入荷量は増量となっているが、相場は保合の見通し。

「平核無 200g トレー」 特秀 4L 330 円 青秀 4L 290 円

「蜂 屋 230g トレー」 特秀 4L 420 円 青秀 4L 390 円

### 【 野 菜 】

果菜類の一部品目では、気温低下の影響で入荷量が減少したため相場が上昇となった。

一方で、重量野菜は潤沢な入荷が続いていることもあり、販売環境は厳しい状況となっている。

今週末にはクリスマスを抑えていることから、需要が見込まれる品目は引き合いが強まり相場が強まる見通し。

葉物類や菌茸類などの注文は今現在活発ではなく、週末にかけて徐々に年末の発注が本格化する見通し。

#### <いちご>

週末に向けた業務関係の注文分に対して、逼迫した状況が続いており、品種・等階級によっては相場を上げての販売となる見通し。

@ L 1,100 円 A 550 円

#### <に ら>

袋物相場の上昇からバラ規格にも引き合いは見られ、強保合での販売となる見通し。

@ A L 90 円 ~ 85 円

#### <春 菊>

現時点では末端の荷動きは活発ではないが、年末需要期に向けた数量確保のため、相場を強める見通し。

@ A 120 円 ~ 100 円